

## 水稲新品種「石川65号」のV溝直播栽培における 苗立数および施肥量

### 1 背景・目的

石川県で育成した大粒で良食味の晩生品種「石川65号」を、乾田V溝直播で栽培する際の適正な苗立数と窒素施肥量を明らかにする。

### 2 技術のポイント

- (1) 苗立数を100本/m<sup>2</sup>以上確保すれば、穂数は330本/m<sup>2</sup>以上確保でき、粍数30千粒/m<sup>2</sup>以上が得られる(図1)。
- (2) 窒素施肥量は、コシヒカリ慣行施肥量より5kg/10a程度増やした場合に粍数が30千粒/m<sup>2</sup>、収量が700kg/10aとなり、整粒歩合70%以上を確保できる(図2、3、4)。

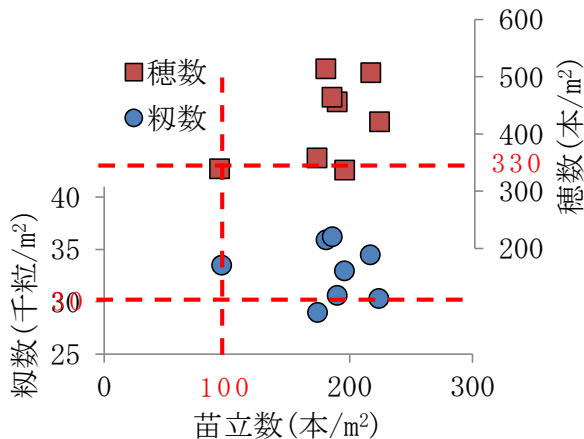


図1 苗立数と穂数および粍数の関係

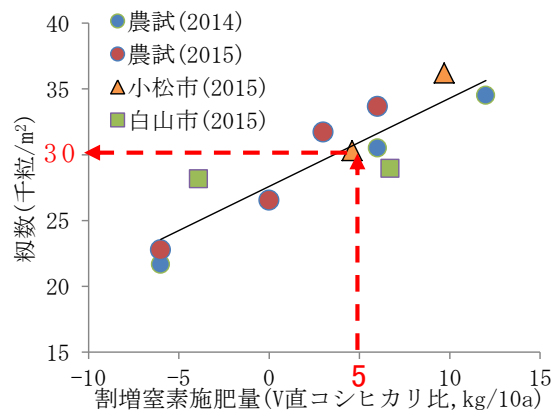


図2 割増窒素施肥量と粍数の関係  
割増窒素施肥量は窒素施肥量から地域慣行のコシヒカリV溝直播栽培における窒素施肥量を差し引いた値

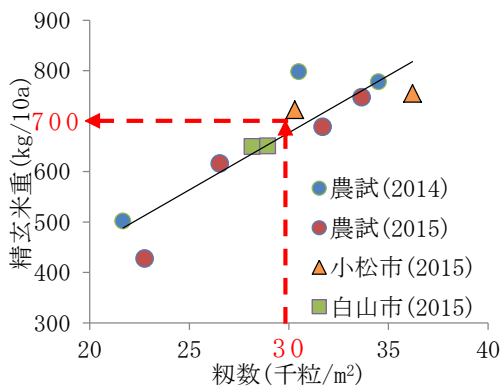


図3 粍数と精玄米重の関係

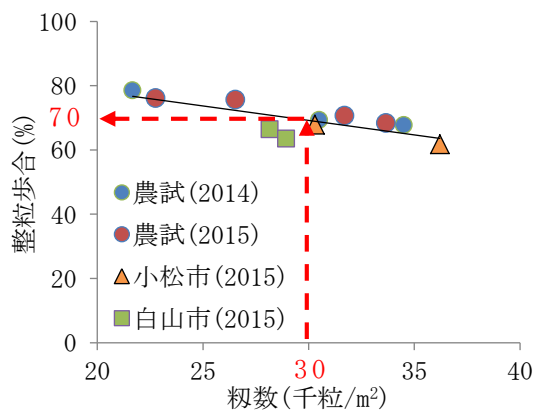


図4 粍数と整粒歩合の関係

### 3 成果の活用と留意点

- (1) 大粒であるため、播種量はコシヒカリ慣行より20%増す。
- (2) コシヒカリ用のV溝直播専用肥料を用いた結果である。
- (3) 晩生品種であることから、5月上旬までに播種した場合、出穂期は8月中旬、成熟期は9月下旬から10月上旬となる。

問合せ：作物栽培グループ TEL076-257-6911  
担当者：宇野史生・澤本和徳